

## 学習活動の遂行によって 認知症高齢者の抑制機能を改善できるか

孫 琴\*      立命館大学文学部  
吉田 甫      立命館大学文学部  
土田 宣明    立命館大学文学部  
大川 一郎    筑波大学大学院人間総合科学研究科

本研究の目的は、音読・計算活動の遂行が前頭葉機能を活性化させた調査結果に基づいて、これらの活動の遂行が認知症高齢者に及ぼす影響を検討することが目的である。半年間の介入の前後に、ストループ課題、SRC課題を使って抑制機能が査定された。この研究の結果、学習群は、ストループとSRC課題において事前と事後テスト間に有意な変化が見出された。しかし、査定課題のみを与えられた対照群では、半年後にも有意な変化はなかった。これらの結果は、認知機能の活性化という視点から考察された。

キーワード ⇒ 抑制機能, 認知症, 活性化, 学習活動